



BLUE SKY

第17号

令和7年3月13日（木）
コタキナバル日本人会附属
コタキナバル日本人学校
TEL 088-422297



～自ら学び 心豊かな子どもに～ 文責：校長 渡會 寛之

令和6年度KJSの歩み終わる それぞれが新しいステージへ

3月12（水）に令和6年度卒業証書授与式が行われ、そして今日13日には修了式と離任式が行われました。自ら学び心豊かで発信力のある子どもたちを育てるべく、この1年間体験的な学びに力を入れたり、英語やマレー語で話す機会を増やしたりしてきました。また、各学校行事においても、決められたことをただなぞるように行うのではなく、自分たちで考えたり、選択したりして自己決定する場面をできるだけ設けてきました。その結果、子どもたちは毎日明るく楽しく元気よく学校生活を送ることができたと思います。時には友達とぶつかったり、頑張りすぎて転んでけがをしてしまったりすることもありましたが、それはそれで子どもたちがたくましく育つよい経験となったことと思います。

今、子どもたちは一つの節目を迎えます。特に卒業生たちにとっては大きな節目となります。竹にはたくさんの節がありますが、竹はその節のおかげで強くまっすぐ伸びていけるのだそうです。子どもたちにとっても、この節目がより強くたくましく育つための大切な瞬間となるよう願ってやみません。

また、今年度は中3の卒業生だけでなく、多くの仲間が日本に帰国することとなりました。22名いた仲間のうち半数以上が、ここKJSに別れを告げます。しかし、今年度子どもたちが掲げたテーマ「絆～世界一を目指せ～」によって紡がれた「絆」はたとえバラバラになっても決して消えはしないはずです。日本中に、あるいは世界中に散らばったKJS2024の仲間たちが、再びどこかで集いあえる日が来ることを祈っています。

さらには6名の派遣職員のうち半数の3名がこの3月で帰国することにもなりました。今後はそれぞれの所属教育委員会の人事異動により新たな勤務地で子どもたちの教育に携わることとなります。ここで培った経験をもとに、是非日本でもご活躍されるよう期待しております。

最後に、保護者の皆様におかれましては、今年度本校の学校運営に対しまして、温かいご理解とご協力を賜りましたことこの紙面を借りて厚く御礼申し上げます。至らないところも多々あったことと思いますが、皆様の支えのおかげで子どもたちが大きく成長できましたことは、我々にとっても大きな喜びであります。

どうか、これからも末永く本校をご支援くださいますよう、衷心よりお願い申し上げます。

UMS研究室訪問

3月4日と3月10日はUMSの研究室を訪問して、マラリアや海洋生物の研究についてレクチャーを受けてきました。研究に実際に使われている器具を見せていただいたり、ナマズに排卵誘発剤の注射を打つところを見せていただいたりして、普段味わうことのない体験をしてきました。このような経験を通して、将来社会の役に立つ研究者になる人がKJSから出てきたら素晴らしいことですね。



Art Gallery校外学習

3月6日（金）UMSの構内にありますギャラリーにて芸術鑑賞校外学習が行われました。グループごとに力を合わせて課題をクリアしながら鑑賞する形で、子どもたちも飽きることなく楽しんで地元の芸術家たちの作品に触れることができました。年度末のひと時、子どもたちの思い出にまた一つ、宝物が加わった一日でした。



祝 卒業

